

歴史(江戸時代⑩・3つ目の改革編)

1792年にロシアの使節①_____が根室に来航、1804年に②_____が長崎に来航して通商を求めるが、これを断わった。19世紀になると、ロシアのほか、イギリスやアメリカの船も日本に近づくようになり、1808年にはイギリスの軍艦が長崎港に侵入するフェートン号事件が起こった。その後、1825年、幕府は③_____令を出し、これを批判した渡辺崋山と高野長英を厳しく処罰した(④_____)。

1830年代には、天保のききんが全国をおそい、百姓一揆や打ちこわしが激増した。そして、1837年、もと大阪町奉行所の役人だった⑤_____が反乱(⑥_____の乱)をおこし、幕府に衝撃をあたえた。その後、1841年、幕府の力を回復させるため、老中の⑦_____が⑧_____の改革を行った。まず、⑨_____令を出してぜいたく品を禁止し、物価の上昇をおさえるために⑩_____を解散させた。また、江戸や大阪周辺の農村を幕領にする⑪_____令を出すか、大名や旗本の反対にあい、改革は2年余りで失敗となった。